

## 随想やましろ

10月15日、「カフェ頼

政道」恒例のバスツアー。3組あります。

天橋立、お伊勢さん、そ

して今年は淡路島までの

日帰り旅行、60人乗りの

バスを仕立てて行つてき

ました。この旅行の売り

は医師と看護師3人が一

緒に行くから何か起こっ

ても心配ない、みんなで

行きましよう」という企画

です。そのお誘いのせい

か、年々参加者が増えま

す。「来年はもう行けな

い、今年で最後だから」

と、娘さん同伴の参加も

さあ、出発。ベテラン



門阪 庄三

## 暮らしの中の「地域」旅行

バスガイドさんも例年と同じBさん。馴染みどいものは良いものです。参加者との呼吸が狂わない。旅行のタイムスケジ

所、さて当日の朝の集合場所、「今年で最後」から3組あります。

さて、さて、いつでも、昼食とお土産探しです。みんなで食べる昼食、これが本当に樂しそう。そして孫や家族へのお土産が自慢になります。「おばあちゃんが淡路島へ行つてきました。明石大橋を渡つてうず潮を見てきた。買った玉ねぎス

ープ、美味しいと思うよ。彼らのツアーハンは地域の参加者皆さんの助け合いで。だからこのツアーは家族旅行ではなく、「地域」旅行なのです。

（カドサカ内科クリニック院長）

バスガイドさんも例年と同じBさん。馴染みどいものは良いものです。参加者との呼吸が狂わない。旅行のタイムスケジ

でした。

旅の楽しみはなんと探しています。みんなで食べられるリスクのある日帰り旅行かも知れません。

そのリスクを懸念します。ボランティアスタッフの周到な準備や現場力

た。

すると「今日一日楽しかった」が生活から奪われてしまふと思つています。ボランティアスタッフの周到な準備や現場力

た。

ブルはありませんでした。



人生樂しく

(サークル「つくし」川島八千代)

ユール説明から道中の歴

史、そして明石海峡大橋

の工事計画から完成まで

の語りは、日本に誇りを

感じさせる鮮やかなもの

が、幸い事故などのトラ

ク院長）

ます。小学生の遠足に負けないおしゃべりがいっぱい。雨模様の一日でした

想像できないくらいのテンションの上がり方で

ます。小学生の遠足に負け

ないおしゃべりがいっぱい

い。

（カドサカ内科クリニック院長）